

令和2年度ヨーロッパザラボヤ付着情報(第6報)

令和2年9月29日

発行: 岩手県水産技術センター

協力機関: 沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

平均付着数は減少傾向ですが、低水準での付着は継続しています。

< 調査方法 >

- ・山田湾内の定点において調査。
- ・ホタテガイ貝殻製の付着器を5m、10m、15m水深に3枚ずつ垂下し、約1ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ(1mm以上)を計数。
- ・平均付着数: 9枚(3水深×3枚)の付着器1枚あたりの平均値。

< 調査結果 >

付着器投入日: 令和2年8月26日

付着器回収日: 令和2年9月28日

- ・9/28の水深5・10・15m層の平均水温は21.3℃、透明度は7mでした。
- ・付着器1枚あたりのヨーロッパザラボヤの平均付着数は3個でした。

月	平均付着数/枚		
	2018年	2019年	2020年
1	5	5	6
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5	3	2	2
6	353	1,004	434
7	155	550	115
8	45	163	15
9	9	28	3
10	22	32	
11	27	43	
12	34	14	

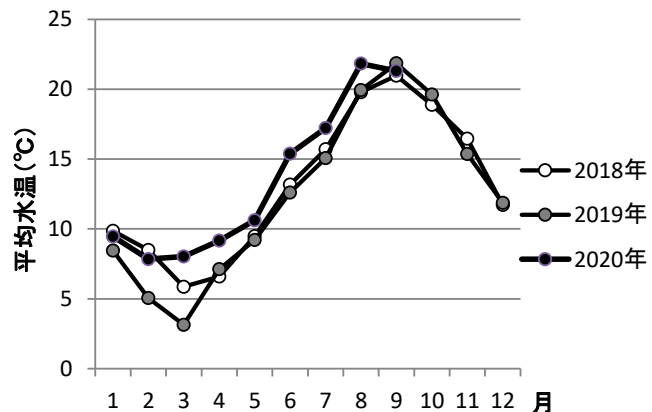


図1 山田湾定点における平均水温(5・10・15m)の推移

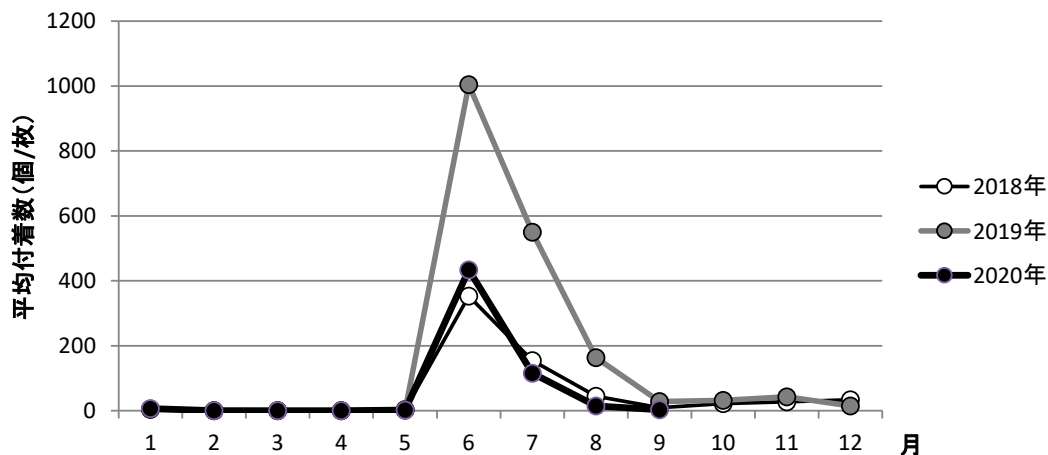


図2 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

次報は、10月末頃に発行する予定です。